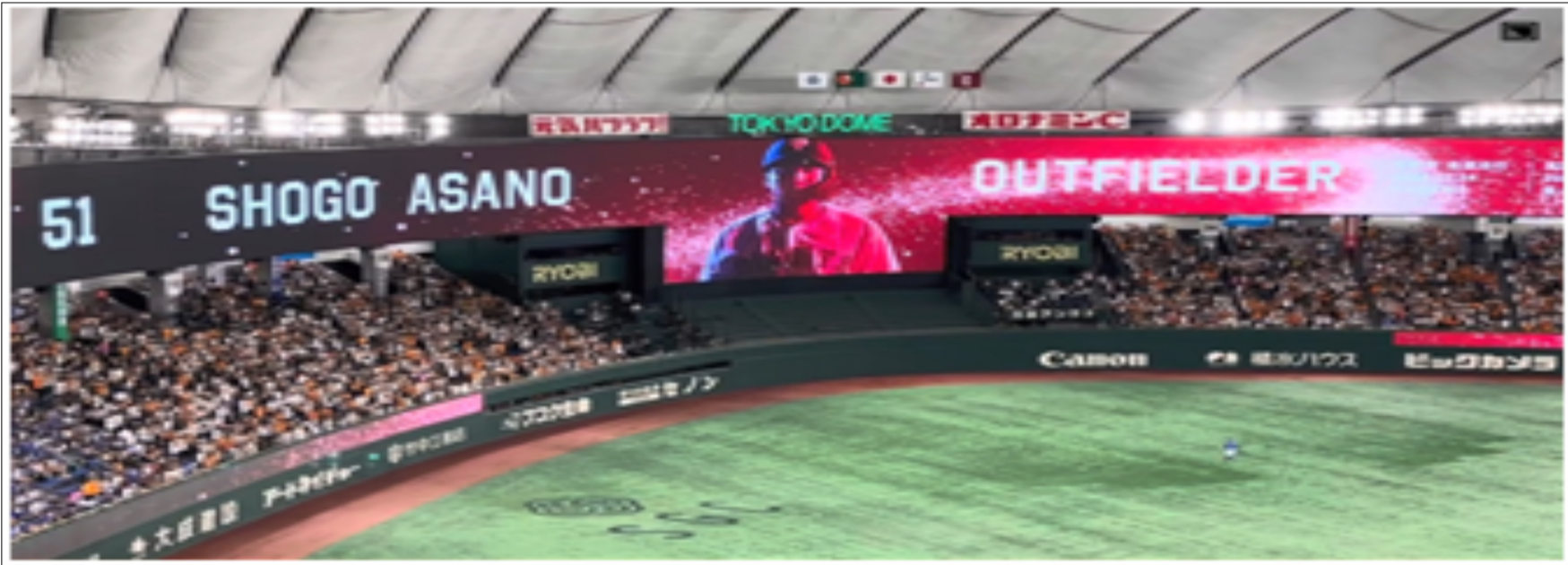


浅野翔吾選手、プロ初本塁打放つ！

西岡歯科通信



西岡歯科医院

〒760-0062
香川県高松市塩上町
3丁目14番17号

☎ 087-831-1987



スタメン出場！

8月11日、22日おりに出場選手登録され、本拠地・東京で1ムで行われるDeNA戦で、プロ入り後初めてスタメンに名を連ねた。「8番・右翼」で相手先発の左腕・東克樹投手に立ち向かった。それまでは、3打席連続三振だったが、両者無得点で迎えた5回裏、1アウト1塁の場面で浅野の第二打席目にインコースのボールを振り抜き、レフト前に運んだ浅野。プロ入り5打席目で待望の初ヒットを記録し、笑顔が飛び出した。思わず『よっしゃー！』と家族で喜びをかみしめた次第です。

1st DeNA戦の「8番・右翼」でプロ2度目、2日おりのスタメン入りを果たす。6点リードの6回1死、DeNA上茶谷投手の2球目141キロのカットボールを積極的に振りに行った。鋭い当たりで三遊間を抜ける左前打を打った。これでスタメン出場した試合では2試合連続安打となった。

18日の広島戦において、「7番・右翼」としてプロ3度目のスタメン入りを果たす。この日の試合前のフリーバッティングで、ホームラン性の当たりを連続しており、何か起きる予感がしました。序盤、第1打席は1アウト2塁のチャンスでフェーストゴロ。中盤、3点リードされての5回表、先頭の中田翔がツーベースヒットで出塁し、再びチャンスの中で迎えた第2打席、浅野は広島先発・森から1ストライクからの2球目をレ

フトへプロ入り初の2ランホームランを放ち1点差に迫りました。7月に初めて一軍登録されてから12打席目で初の本塁打&打点を記録しました。おめでとうございます！

巨人の高卒新人の本塁打は2015年に岡本和真がプロ初安打となる本塁打を放つて以来8年ぶり球団史上7人目となった。過去の達成者は坂崎一彦（1956年）、王貞治（1959年）、堀内恒夫（1966年）、林千代作（同）、松井秀喜（1993年）、岡本和真（2015年）。

こんな大物選手と肩を並べるとは。ただ、スタメン起用はとうやら今のところ先発が左投手のときによろしくね。



「原監督の談話より」
『よかったですね、ナイスホームラン。うまく打ったと思いますよ。たいしたもんだ。なんというか、これをとどろいね、栄養にして頑張ることですね。技術も全て良いものを持つてると思いますが。ただ、超一流の選手になるためにはまだまだいろいろ必要なものがあると思いますよ。しっかりと土台を築き上げるために、しっかりと育てていかなきゃいけないなと思っています。』

「ヒーローインタビュー」
『まさか打てると思ってなかったのでもううれしいです。センターから逆方向の意識で、つなぐ意識だった。ファンも喜んでくれたし、先輩も首脳陣も喜んでくれてうれしかったです。使ってもらった時はしっかり結果を残して、ファンと共に喜びを分かち合えるように頑張っていきたいので、ご声援の程よろしくお願いします。』と意気込み、ファンから温かい拍手を浴びていた。

19日、広島戦には11戦ぶり先発となる広島末包昇大外野手（高松商業←東洋大学←大阪ガフ）が、3号ソロを含む2安打2打点で勝利に貢献した。2回2死一、二塁に巨人横川投手の浮いたフォークを捉えて右中間を破る先制二塁打。6回は2番手堀岡投手の146キロの直球を左翼席に運び、持ち味の長打力で、打線をけん引しました。試合前まで16打席無安打の迷走中だったが、6日の巨人戦以来の先発起用で成果を示し、翌日20日の巨人戦においても本塁打を放ちました。

浅野君のプロ初本塁打を目の当たりにし、尻に火が付いたかもです。笑



香川県出身者の活躍は日々です。昨今、野球は大リーグの大谷翔平選手の活躍あるものの、日本プロ野球はあまり見えていません。が、今年のセリーグは面白い！首位の阪神は岡田監督になり強さが戻ってきたし、2位は広島で、現在3位のDeNAと4位の巨人は勝率がほぼ同じでまだまだ分かりません。なんとか、3位に巨人が滑り込み、クランマックスゲームのフェーストステージで、末包選手と浅野君、お二人がともにスタメンで出場して活躍することを期待します。